

「研究発表Ⅱ」

学校名 県立横須賀大津高等学校PTA

研究テーマ 「愛とつながりを宝に！～永遠に大津サイコー～」

1 はじめに

「横須賀大津高校の幸せの青い鳥を探して」のテーマで、PTA活動の原動力を探ったアンケート・インタビューの報告を軸に、各委員会活動を紹介しします。

2 学校紹介

明治39年横須賀高等女学校として開校し、平成28年度に創立110周年を迎えました。その間昭和25年に神奈川県立横須賀大津高等学校と改称、共学第一期生が入学した昭和56年11月には現在の校歌が制定されました。明治・大正・昭和・そして現在の校歌の4つがあります。

創立100周年時に校内に残る資料や備品に卒業生の寄贈も加えて校史資料室を開設しました。

学校案内パンフレット等いろいろなところで活躍している本校マスコット「おーくん」と「つーちゃん」は校章をモチーフに平成21年秋に生徒のデザインで誕生しました。また、「大津サイコー」というフレーズは、体育祭をはじめ卒業式など様々な場面で生徒や先生、PTAが一丸となって使っています。

3 PTA紹介

横須賀大津PTAの歴史は古く、大正11年に家庭会として発足しました。

4つの常置委員会のほかに特別委員会があり、地区大会の当番校や提案校の年に発足します。今回も各委員会から選抜された15名で特別委員会を発足し活動してきました。

●運営委委員会

横須賀大津高校では6月の文化祭と9月の体育祭をあわせて橘華祭（きっかさい）と呼んでいます。

文化祭では模擬店を出店し、校章入り紅白饅頭やコロッケ&バンズパン、ベーカリーの販売を行いました。体育祭の応援DVDの上映もしています。

体育祭では熱中症対策としてスポーツドリンクやお茶、冷水をジャグに準備して生徒や来場者に提供しています。男性も含めたPTA協力員を募りお手伝いをしてもらいます。

持久走大会でも協力員を募り豚汁を作って生徒や先生に食べてもらいます。普段PTA活動に関われない保護者の方も協力員として行事に参加することで子どもたちと一緒に活動を楽しんでいます。

●学年委員会

主にバス旅行や観劇などの日帰りツアーと手芸などの講習会を企画開催しています。

今年7月は川越散策バス旅行、往路車内では大津高校と川越に関するクイズで盛り上がりました。

参加者の「楽しかった」の一言が活動の原動力です。

●広報委員会

広報誌「鏡」の第1号発刊は今から58年も前の昭和36年頃の事です。令和元年度の最新号で第135号になります。

地域の方や教職員の協力を得ながら、楽しみながら頑張っています。

●交通安全委員会

主な活動は登校時の見守り、文化祭での「安心〇×クイズ」の実施、年1度整備士さんによる自転車点検、交通安全だよりの発行です。

願いはただ1つ「悲しい事故が起きないように」です。安全への意識を高められるようなお手伝いを続けていきます。

●ステップアップ大津委員会

主な活動は、プリント届けてますかキャンペーン、文化祭でのアルコールパッチテスト、PTAフォーラム、AED講習会です。

横須賀大津高校独自の委員会として、時代に合ったテーマで子どもたちにエールを送り続ける活動を目指して取り組んでいます。

4 アンケートについて

PTA活動の原動力を探ろうと新入生の保護者を対象にアンケートを行いました。

① 横須賀大津高校のイメージ

⇒行事や部活が盛んで歴史があり、通学しやすい学校

② 親戚、身内に横須賀大津高校出身者がいるか ⇒約3割が「はい」と回答（4世代続いでた出身者や家族7人が出身者という方もいた）

歴史が長く身内に出身者が多いことから大津高校の話聞く機会が多いと思われる。また、行事などで学校を訪れる機会も多いため学校に愛着がわきやすく、愛校心がわきPTA活動に協力的な人が多いのではないかと考えられます。

5 インタビューについて

本校卒業生であり、平成12年ステップアップ大津委員会発足時のPTA副会長で現在同窓会の会長である松本千栄子氏にインタビューしました。

- ・ステップアップ大津委員会の発足
- ・協力員登録制度の発足
- ・若山牧水の歌碑建立
- ・校庭の桜伐採時の活動

「原動力はつながりと母校愛です。」

6 おわりに

青い鳥はPTA会員みんなの心のなかにいる！
「大津サイコー！」

【質疑応答】

Q. 文化祭でアルコールパッチテストを行ったとの話がありましたが、アルコールパッチはどこで購入したのですか？

A. 市販の絆創膏にアルコール（エタノール）を垂らして腕の内側に貼りました。アルコールに耐性のない人は数分で赤くなります。

Q. ステップアップ委員会のプリント届けてますか
キャンペーンは成果はありましたか？

A. 実感はありません。ポスターを貼り、先生に声掛けをしてもらっていますが、高校生になってからは遅いのかもかもしれません。

【助言者講評】

県立海洋科学高等学校 校長 石垣 隆

○すばらしい研究発表でした。お忙しいなか寸劇まで・・・実践事例を通じて活動のすばらしさが伝わる楽しい発表でした。

○横三地区のなかでも歴史のある伝統校であり、PTAの活動も歴史があります。学校行事が盛んでそれを先生、OB、PTA、地域全体で支えている、それに生徒が応えていくことができている。文化祭での模擬店、体育祭でのスポーツドリンクの配布、持久走大会での豚汁作り、AED講習会、学年委員の研修活動、広報委員の会報「鏡」の発行、ステップアップ委員の活動など他の学校も参考にされてみてはいかがでしょうかと思います。

○同窓会たちばな会会長からのメッセージ「つながりと母校愛」地域・OBなど学校外、社会とのつながりは伝統校ならではのものがあります。どの学校も学校だけではいろいろな活動ができないので学外のような力を借りていることと思います。

今後とも皆様の力で学校教育を支えていただきたいと思います。PTA活動で大切なことは保護者の方々と教職員が相互の教育について理解を深めあってその充実に務めること、学校教育の諸問題について学ぶ、学習の場であることだと思います。今後も生徒たちのために無理せず楽しみながらご支援ご協力よろしくお願いいたします。